

再評価結果（平成23年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・防災課
担当課長名：三浦 真紀

事業名	一般国道357号東京湾岸道路（千葉県区間）	事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 関東地方整備局																																	
起終点	自：千葉県千葉市美浜区真砂 至：千葉県浦安市舞浜	延長	21.3km																																			
事業概要	<p>東京湾岸道路は、東京湾を取り巻く千葉県、東京都、神奈川県のコスモポリタン圏の海岸沿いに、千葉県富津市から神奈川県横須賀市に至る延長160kmの幹線道路であり、一般部と専用部を併設した構造となっている。</p> <p>一般国道357号東京湾岸道路（千葉県区間）は、東京湾岸道路の一部を形成し、中長距離の交通を担う専用部に対し、地先交通と地域間交通を担う一般部の整備を進める事業として、内陸部の交通混雑の緩和、湾岸地域に立地する諸施設の連携を支援することを目的とした延長21.3kmの道路である。</p>																																					
S45年度事業化	S44年度都市計画決定	S47年度用地着手	S45年度工事着手																																			
全体事業費	約1,313億円	事業進捗率	78%	供用済延長	21.3km																																	
計画交通量	36,800～88,400台/日																																					
費用対効果分析結果	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">B/C (事業全体)</td> <td style="width: 30%;">4.3</td> <td style="width: 30%;">総費用 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 10%;">236/3,886億円</td> <td style="width: 10%;">総便益 (残事業/事業全体)</td> <td style="width: 10%;">1,861/16,785億円</td> <td style="width: 10%;">基準年</td> <td style="width: 10%;">平成22年</td> </tr> <tr> <td>(残事業)</td> <td>7.9</td> <td>事業費</td> <td>195/3,788億円</td> <td>走行時間短縮便益</td> <td>1,597/16,146億円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>維持管理費</td> <td>41/98億円</td> <td>走行費用減少便益</td> <td>213/610億円</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>交通事故減少便益</td> <td>51/28億円</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	B/C (事業全体)	4.3	総費用 (残事業/事業全体)	236/3,886億円	総便益 (残事業/事業全体)	1,861/16,785億円	基準年	平成22年	(残事業)	7.9	事業費	195/3,788億円	走行時間短縮便益	1,597/16,146億円					維持管理費	41/98億円	走行費用減少便益	213/610億円							交通事故減少便益	51/28億円							
B/C (事業全体)	4.3	総費用 (残事業/事業全体)	236/3,886億円	総便益 (残事業/事業全体)	1,861/16,785億円	基準年	平成22年																															
(残事業)	7.9	事業費	195/3,788億円	走行時間短縮便益	1,597/16,146億円																																	
		維持管理費	41/98億円	走行費用減少便益	213/610億円																																	
				交通事故減少便益	51/28億円																																	
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量 : B/C=7.6～9.0 (交通量 ±10%)</p> <p>事業費 : B/C=7.3～8.6 (事業費 ±10%)</p> <p>事業期間 : B/C=7.1～8.5 (事業期間 ±20%)</p>																																					
事業の効果等	<p>(1) 交通混雑の緩和</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該区間の損失時間は、全国平均の約6倍と高く慢性的に渋滞している状況。 国道357号の立体交差点化や局所的な交通円滑化対策の実施により渋滞の緩和が見込まれる。 <p>(2) 安全安心な通行の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 当該区間の死傷事故率は、全国平均の約2倍の死傷事故が発生。 国道357号の立体交差点化や局所的な交通円滑化対策の実施により事故の減少が見込まれる。 																																					
関係する地方公共団体等の意見	<p>県知事の見解：一般国道357号東京湾岸道路（千葉県区間）は、本路線の慢性的な交通渋滞の緩和や交通安全の確保に資するとともに、湾岸地域の物流の円滑化、地域経済の活性化につながる重要な事業であることから、引き続きコスト縮減に努めながら、事業の推進を図られたい。</p>																																					
事業評価監視委員会の意見	<p>事業の継続を承認する。</p>																																					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<ul style="list-style-type: none"> 湾岸地域という立地を活かし、大型商業施設や工場・物流施設が多く立地している。 当該区間の周辺は、物流施設や商業施設の開発が進み、交通需要が大幅に増大している。 																																					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>4種道路は平成2年度に全線供用。3種道路のうち千鳥町立体は平成18年度、高浜立体は平成19年度に完成し、残る塩浜立体、舞浜立体については調査設計推進中。</p>																																					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>塩浜立体、舞浜立体及び船橋地区について、交通状況を見ながら計画的に整備を進めていく。</p>																																					
施設の構造や工法の変更等	<p>塩浜立体、舞浜立体等の橋梁形式を箱桁橋から鈹桁橋に見直し、コスト縮減を図る。</p> <p>船橋地区の渋滞対策として交差点改良や車線数増加等の交通円滑化対策を実施していく。</p>																																					
対応方針	事業継続																																					
対応方針決定の理由	<p>以上の事業の効果及び進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、事業評価監視委員会による審議を踏まえると、事業の必要性、重要性は高いと考えられる。</p>																																					
事業概要図																																						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。